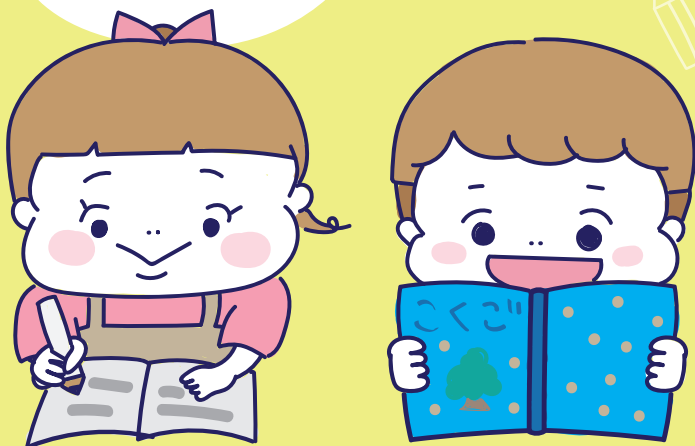


頑張っているのに… 勉強が苦手



もしかすると、それは・・・

怠けている、努力が足りないのではなく
読み書きが苦手なのかもしれません。

読み書きが苦手な子どもは
小学生の8%弱
40人学級にすると3人程度
いるとされています。

知的な遅れはないとしても
読み書きの習得が困難な状態を

『発達性ディスレクシア』
といいます。

◇ 一人一人違うので、その子にあった支援が必要です！

ご相談は
こちら

小中学校の特別支援教育に関するご相談

水戸市総合教育研究所 支援相談係
☎ 029-244-1331

発達に関して・福祉サービスのご相談

水戸市子ども発達支援センター「すくすく・みと」
☎ 029-253-3650

LD 親の会@みと

LD 親の会@みとは、学習障害、発達性ディスレクシアなど、学習に困難さや苦手さがある子の保護者の情報交換をするための会です。検査がまだの方や、診断がなくとも、お気軽にご参加ください。

対象：水戸市内の小中学生の保護者

活動内容：年3回程度の情報交換会、年1回程度の勉強会

◎LD 親の会@みとは、水戸市総合研究所、水戸市子ども発達支援センターと連携し、活動しています。

親の会への参加をご希望の方は、事務局へご連絡ください。

LD 親の会@みと事務局 じゃあまいいかねっと jyamaiika@gmail.com



? 発達性ディスレクシアって?

発達性ディスレクシア（発達性読み書き障害）は、知能や聴いて理解する力には問題がないにもかかわらず、読み書きの能力だけに特に困難を示す状態です。先天性と考えられ、就学期前後に明らかになります。練習しても音読ができない、たどたどしく読んでしまう、漢字や仮名の文字の形を思い出すことが難しいなどの症状があります。

? どのくらいの子どもがディスレクシアなの?

小学1年生から6年生を対象とした調査では、約8%弱いると報告されています。40人学級にすると3人程度いる計算になります。

? ディスレクシアかもしれないと思ったら?

ひらがな・カタカナ・漢字の読み書きが、通常の子どもと比べて、どのくらいできるのかできないのか、簡便に調べる検査が市販されています。その検査は、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室・通常学級の先生で実施できる方もいますし、病院や専門機関で受けることも可能です。

? 発達性ディスレクシアの子ども達にできることは?

発達性ディスレクシアの子ども達は、書いて覚えることが困難です。漢字の練習をする場合には、漢字を書くのではなく、漢字を音読でき、意味もわかる、ということが非常に大事です。

発達性ディスレクシアとは?動画(筑波大学 宇野彰先生作成)より

まず、気づくことが大切! こんなことはありませんか?

読む



- ✓ ひらがな、カタカナを読み誤る
例): 促音(そくおん)「きって」→「きつて」 : 拗音(ようおん)「ちょ」→「ちよ」
: 長音(ちょうおん)「こうてい」→「こ・う・て・い」 : 助詞部分、語尾
: 形や発音が類似している文字「シ」と「ツ」、「d」と「b」など
- ✓ 漢字を読み誤る、もしくは読めない
- ✓ 文章の読みがたどたどしく時間がかかる



書く



- ✓ ひらがな、カタカナを書き誤る
促音、拗音、長音、助詞部分、語尾、形や発音が類似している文字など
例): 促音「きって」→「きて」
- ✓ 文章を書く際、ひらがなの使用が多い
- ✓ 口頭で言えたことを、文章で同じように書くことが難しい
- ✓ 文字を書くことに時間がかかる



読み書き

- ✓ 板書された文字列を正確に写せない
- ✓ 板書された文字列を写すのに時間がかかる

